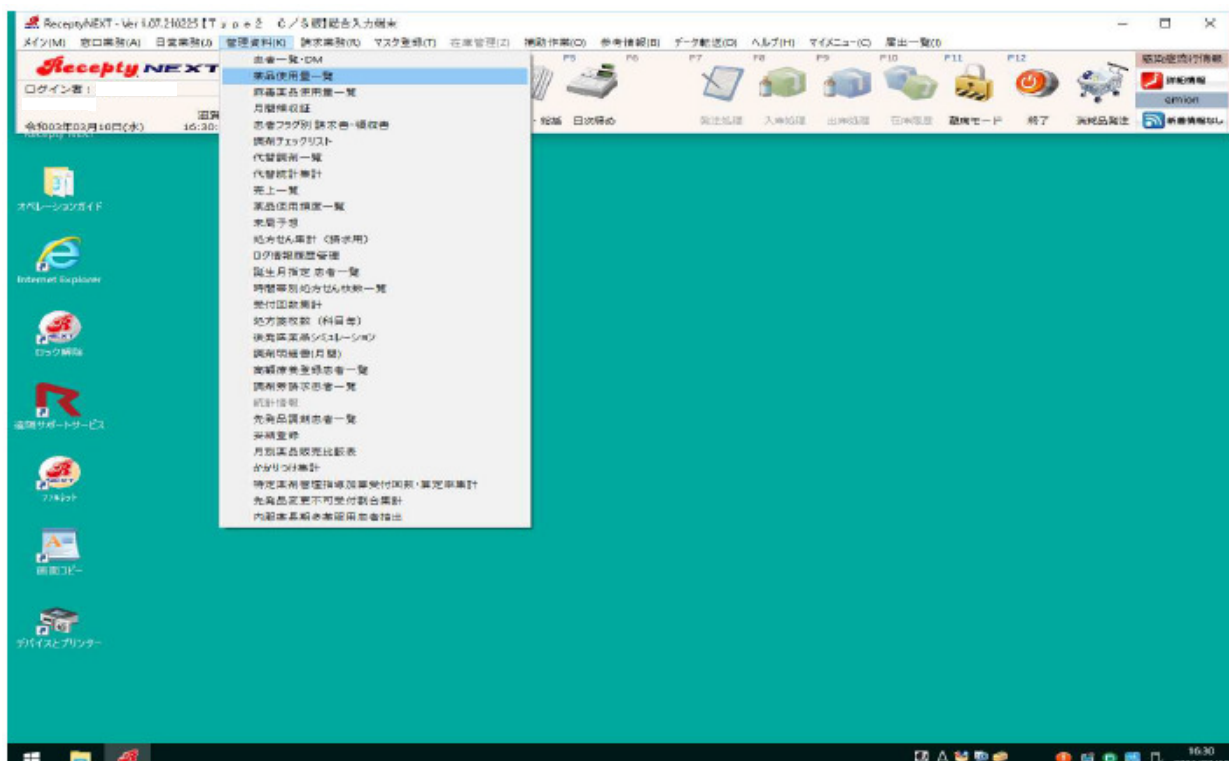


# 抗菌薬使用量調査に伴うデータの抽出方法（株式会社 EM システムズ/Recepty NEXT）

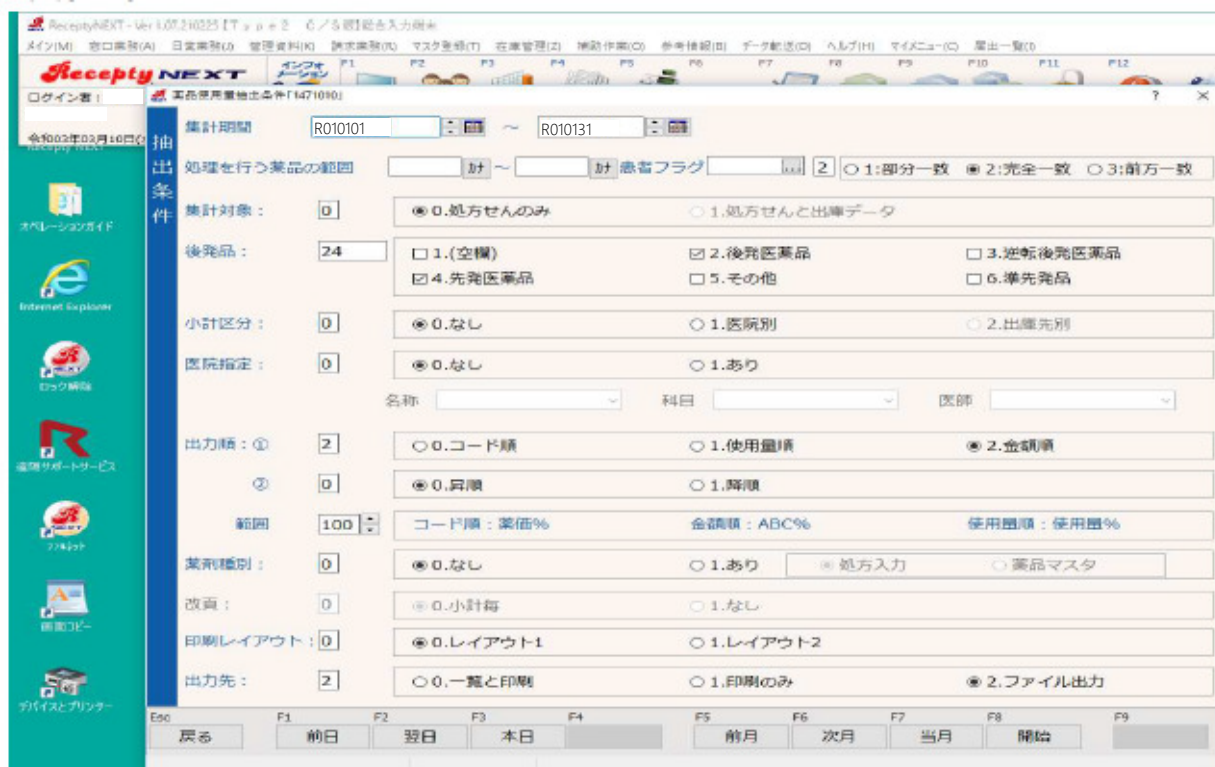
1. 管理資料の選択メニューより「**薬品使用量一覧**」を選択します。



2. 抽出条件設定にて次の画像のように内容の入力を行ってください。

集計期間：【R01/01/01 ~ R01/01/31】と入力します。

**（この期間以外に同様に【令和 01/06/01~令和 01/06/30】【令和 03/01/01~令和 03/01/31】【令和 03/06/01~令和 03/06/30】の3期間も抽出して下さい。）**



① 「処理を行う薬品の範囲」及び「患者フラグ」は空欄のままにします。

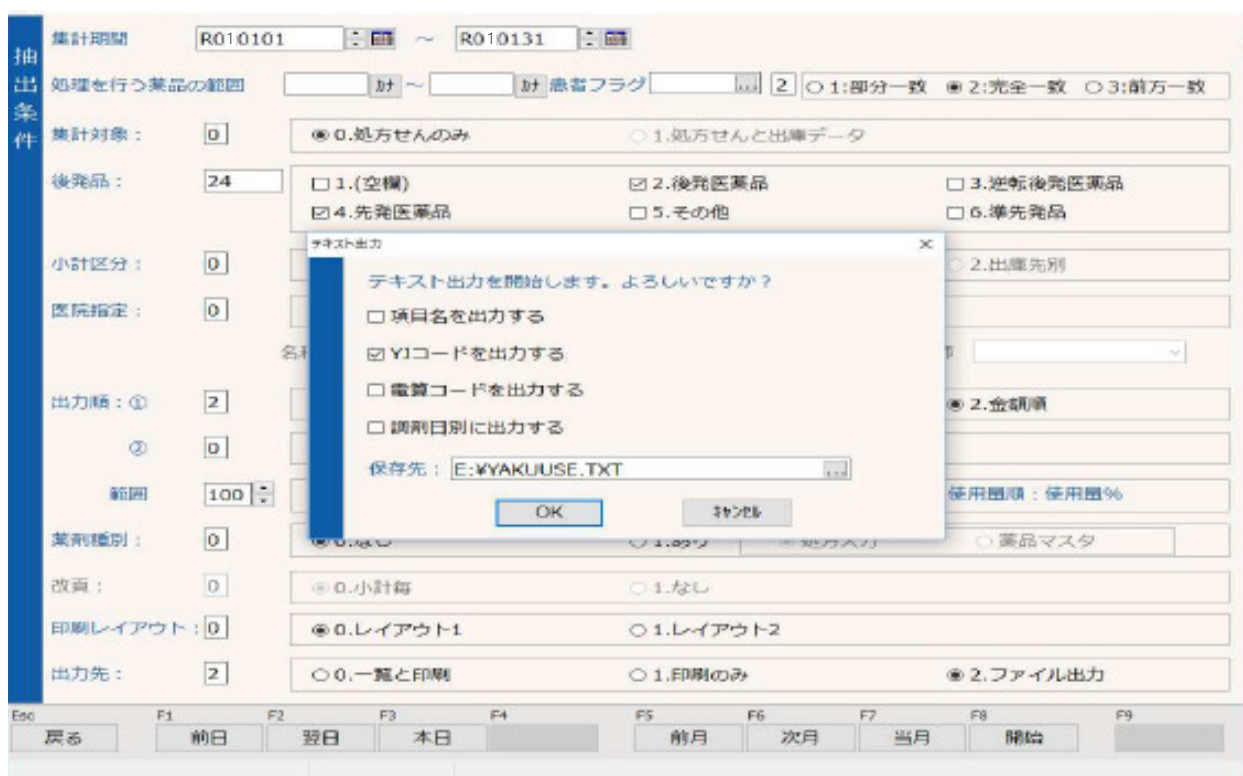
- ② 集計対象は 0 処方箋のみ
- ③ 後発品は 24 2. 後発医薬品 4, 先発医薬品
- ④ 小計区分 0 0. なし
- ⑤ 医院指定 0 0. なし
- ⑥ 出力順① 2 2. 金額順
- ⑦ 出力順② 0 0. 昇順
- ⑧ 範囲 100
- ⑨ 薬剤種別 0
- ⑩ 印刷レイアウト 0 0. レイアウト1
- ⑪ 出力先 2 2. ファイル出力

3 上記の抽出条件を確認したら、F8 開始をクリックして集計します。

4 下記のように「テキスト出力を開始します。よろしいですか？」が画面に出たら、

YJコードを出力する にします。

保存先は、USB などそれぞれ指定してください。



5 レセコンに入力していただいたファイル名（例：「薬剤集計 201901」）でテキストファイルが出力されます。

※出力されたファイルをエクセルプログラムの入った別のパソコンにて CSV 形式に変換する作業を行ってください。

6 4つの期間を抽出していただきますので、最終的に全部で4つのCSV形式のファイルをUSBに保存することになります。